

一般財団法人毎日書道会

令和3年度の実施事業報告

【1】書の展覧会事業

■ 第72回毎日書道展

【毎日書道展本展】

第72回毎日書道展は、前年にコロナ禍で開催の1年延期を余儀なくされ、令和3年に開催した。会友とU23の出品作品を含む公募24、858点（前回比3、219点減）の中から選ばれた入選・会友作品16、154点と、役員作品3、681点をもって開催した。東京展をはじめ全国10会場で展覧した。入場者は、東京展で32、697人（前回比38、090人減）、他の9会場を加えた全国10会場合計で63、865人（同57、702人減）だった。表彰式は令和3年7月18日、ザ・プリンスパークタワー東京でコロナ対策のため規模を大幅に縮小して開き、受賞者ら約500人が出席した。

（10会場の展覧日程は次の通り）

・東京展	前期展	7月8日	～	7月19日	国立新美術館
	後期展	7月22日	～	8月1日	
		7月18日	～	7月24日	東京都美術館
・中国展		8月17日	～	8月22日	広島県立美術館
・北陸展		8月22日	～	8月26日	富山県民会館
・東海展		8月24日	～	8月29日	愛知県美術館ギャラリー
・四国展		8月25日	～	8月29日	愛媛県美術館
・東北仙台展		9月10日	～	9月15日	せんだいメディアテーク
・関西展		9月22日	～	9月26日	京都市京セラ美術館
					日図デザイン博物館
					みやこめっせ第2展示場
・北海道展		9月22日	～	9月26日	札幌市民ギャラリー
					大丸藤井セントラルスカイホール
・九州展		10月19日	～	10月24日	大分県立美術館
・東北山形展		10月20日	～	10月24日	山形美術館

【毎日書道顕彰】

書道に関する芸術・学術・教育・啓蒙の振興に著しく貢献した個人、グループを顕彰する「毎日書道顕彰」は、令和3年は芸術部門に、佐伯孝子、澤江抱石の両氏、啓蒙賞に齊藤瑞仙氏をそれぞれ選定した。同年7月18日、本展表彰式会場で顕彰した。

【中国へ書の研修視察団】

毎日書道展で優秀な成績を収めた出品者を中国に派遣する「中国へ書の研修視察団」は、日中両国の新型コロナの感染状況に鑑み、令和3年度は派遣を中止した。

■ 国際高校生選抜書展

「第30回国際高校生選抜書展」は、国内から11,052点、海外から316点（留学生を含め11カ国・地域）の計11,368点（前年比803点減）の応募があった。このうち、入選以上の2,062点を令和4年2月8日から2月13日まで大阪市立美術館で展示した。団体優勝は仙台育英学園高等学校（宮城県）だった。表彰式は新型コロナの感染状況に鑑み、大臣賞などは個別授賞とし、それ以外は郵送で実施した。

■ 2022毎日書道チャリティー募金

令和3年から、従来の代表書家の小品を頒布する形式の「毎日チャリティー書展」を、歳末のチャリティー募金方式に変更したところ、計240人から合計250万円が寄託され、毎日社会事業団を通じて国内外の社会福祉事業等に寄贈した。

■ 2022現代の書 新春展

「2022現代の書 新春展」は令和4年1月4日～9日、東京銀座・和光ホールに幹部23人の作品、同・セントラルミュージアム銀座には審査会員から選抜した100人の作品を展示した。入場者は合計6,261人だった。

■ 2022毎日書道展新会員作家展

第73回展から会員に昇格する書家を対象に令和4年3月7日～4月9日、アートサロン毎日で「2022毎日書道展新会員作家展」を開いた。計186人が出品し、5週に分けて展示した。入場者は1,226人だった。

■ 地域書道展の助成・協力

本財団として、令和4年1月開催の「毎日現代書関西代表作家展」（大阪市）をはじめ、神奈川、静岡、群馬など全国各地の書道展覧会の開催を助成、企画協力し、国内での書道文化の発展、普及に努めた。

■ 海外展

2年に一度程度の間隔で開催する「国際書法交流大展」は、令和3年度に北京で開催予定だったが、コロナ禍のため開催を先送りした。

【2】出版・広報

■ 出版物

【第72回毎日書道展役員、入賞、入選者名鑑】

令和3年7月発行 20,000部

役員、入賞、入選作家に無料配布した。

【第72回毎日書道展入賞作品集】

令和3年7月発行 3,000部

各賞受賞者全員の作品を収録。希望者に有料で配布した。

【第72回毎日書道展役員作品集】

令和3年12月発行 4,000部

役員作家全員の作品を収録。役員、関係者に無料配布し、希望者には有料で配布した。

【第72回毎日書道展記録DVD】

第72回毎日書道展の審査風景や会員賞受賞作品一覧などを収録した記録DVDを製作し、各会場で無料放映した。希望者には有料で配布した。

■ 会報発行

毎日書道会の事業活動の周知、広報用に「書道会報」を年4回発行した。賛助会員全員と書道関係者らに無料配布した。

令和3年4月 48,000部（16頁）

7月 17,000部（8頁）

9月 12,000部（8頁）

12月 12,000部（8頁）

【3】アートサロン毎日の運営

アートサロンは令和3年度に、書道を中心に計9団体が延べ28週利用して個展やグループ展等を開催した。なお、展覧会以外では、毎日書道会内部の各種会議、毎日書道展などの準備作業場などに使用された。

【4】毎日書道図書館の運営

「毎日書道図書館」の利用者は、令和3年度に349人（前年度比74人増）だった。蔵書は寄贈などにより、約20,000点となった。